

技術士補とは

技術士補 (Associate Professional Engineer) は、将来技術士となる人材の育成を目的とする、技術士法に基づく日本の国家資格である。有資格者は技術士の指導の下で、技術士補の称号を使用して、技術士を補佐する技術業務を行える。(Wikipedia より引用)

以下、様々な情報源をもとに補足します (間違いがあればご指摘ください)。

●技術士補には約 20 の部門があります。

本学科学生には、生物工学部門、環境部門の二つがこの順で現実的な選択だろうと考えます。

●技術士は開発の実務能力や指導、コンサルティングの能力に対して与えられる国家資格で文科省管轄です。実際どのような方が取得しているかを見ると、個人で技術士事務所を持ち企業の技術指導をしている方 (技術コンサルタント業務)、大学や国公立の研究所で研究または研究補助をしている方、一般の企業 (製薬、食品、化粧品、製紙、繊維など) で技術関係の仕事をしている方など様々です。技術士指定の求人募集の例もあります。技術士としてさらに継続研鑽を積めば「国際的な技術者資格」となります。

●就職活動では自己アピールの一つとして有利に働くと考えられます。エントリーシートや履歴書にはもちろんのこと、登録後は名刺にも技術士補 (〇〇部門) と書くことができます。

また、各地で開催される部会—もちろん学生でも参加 OK—に参加することで人脈を広げることが可能です。参加者は様々な専門分野、業種の方たちなので、学べる範囲が広く、またインターンシップ的な意味合いに発展することもあるようです。

●技術士補となる資格 (技術士第一次試験合格者及びそれと同等と認められる者) を有する者は、以下に示す 3 つの経路のうち、いずれかで経験を積み、受験申込みを行う時点で、以下のいずれかに該当すれば、技術士第二次試験を受けることができます。

経路 1 技術士補に登録され、補助する技術士の下で 4 年 (総合技術監理部門を受験する場合は 7 年) を超える期間の実務経験を積む

経路 2 優れた指導技術者の下で 4 年 (総合技術監理部門を受験する場合は 7 年) を超える期間の実務経験を積む

経路 3 7 年を超える期間 (総合技術監理部門を受験する場合は 10 年) の独自の実務経験を積む

本学科博士課程（前期・後期）在学期間は、最大2年間の実務経験期間としてカウントされます。

●厳密な正確性を要する事項については公益社団法人 日本技術士会技術士試験センターのホームページで必ずご確認ください。<http://www.engineer.or.jp/>

受験に関するおおまかな日程、合格率

(変更があるかもしれないので各自ご確認ください)

これは H25 年度の例です。

試験施行に関する官報公告	4月中旬ごろのようです(要確認)
受験申込書配布	平成 25 年 6 月 3 日(月)～7 月 1 日(月)
受験申込受付期間	平成 25 年 6 月 10 日(月)～7 月 1 日(月)
筆記試験日	平成 25 年 10 月 14 日(月・祝日)
合格発表	平成 25 年 12 月 18 日(水)[予定]

参考までに、H24 年度の生物工学部門の合格率は 72.1% (受験者 111 名、合格者 80 名) でした。

技術士第一次試験（技術士補試験のことです）の科目、合否の基準

（変更があるかもしれないので各自ご確認ください）

基礎科目

科学技術全般にわたり基礎知識を問う問題（1時間、15点）

適性科目

技術士法第四章の規定順守に関する適性を問う問題（1時間、15点）

共通科目 →H25 から廃止になりました（基礎科目に統合）

~~（本学科卒業者は免除対象）~~

~~数学、物理学、化学、生物学、地学の中から2科目を選択~~

専門科目

生物工学部門、環境部門ならば、それぞれ生物工学、環境（2時間、50点）

マークシート形式（五肢択一式）で行われます。合否決定基準は、H25年度では「全科目において50%以上の得点」でした。H24年度は異なる基準でした。合否基準は毎年確認する必要があります。

年齢、学歴による受験資格の制限はありません。

本学科のカリキュラムを考慮した場合、3年生あるいは2年生での受験が現実的で、また勉学上、キャリア形成上メリットが大きいと思います。もちろん他学年でもスケジュールと努力次第で受験できます。バイオ上級試験対策、定期試験対策、院試対策、公務員試験対策で勉強した内容も役に立つかと思います。過去問（<http://www.engineer.or.jp/> に掲載されています）を見てご検討ください。

追記：H26年度は本学科学生20名以上が生物工学部門で合格しました。合格率も全国平均を上回るものでした(H26.12.23)。

受験のための参考書を今回購入しました

- ・独学・過去問で効率的に突破する! 「技術士試験」勉強法 鳥居 直也 (著)
- ・~~技術士第一次試験「環境部門」(専門科目)予想問題集 中部技術支援センター (編集)~~
~~——(注; 生物工学部門の対応する本はありませんでした) ←購入不可能~~
- ・2013年版技術士第一次試験基礎・適性科目完全解答 オーム社 (編集)
- ・技術士第一次試験「基礎・適性」科目キーワード700 Net-P.E.Jp (著)
- ・技術士第一次試験専門科目解答解説集—生物工学部門—平成18年度・19年度・20年度・21年度 TCI 技術士第一次試験対策研究会編 (新技術開発センター)
(注: 最新版は同センターが主宰する講習会に参加しないと入手不可能)

また本学科関係者で技術士補取得した方の体験談もいただいております。

不明な点は、答えられるかどうかはともかく、まずはお問い合わせください。

2013年11月記載 文責 就職担当委員